事業計画書

マイケル・スペンサー　エデュケーション・プログラム

音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座

企画意図：　2009 年より毎年実施してきた「音大生、音楽家、音楽教員のための音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座」の実績をふまえ、音楽の専門的知識を有する実践的なファシリテーターの養成を目指す企画です。最近の日本では、欧米で定着している芸術教育プログラムへの関心、ワークショップ取組みへの関心が年々高まっています。一方で、音楽に特化した参加体験型プログラムやワークショップを実施するための専門的人材、つまりファシリテーターの育成は端緒についたに過ぎません。この 20 年間、日本における音楽ワークショップの普及に腐心しているマイケル・スペンサー氏（上野学園大学音楽文化研究センター研究員）の満を持した 4 日間の養成プログラムは、音楽ワークショップ推進のスキルを体系的に、なおかつ理論的に学ぶ格好の機会となります。また、大学生のキャリア支援プログラムとし、大学生への呼びかけも積極的に行います。

名　　称：　音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座

日　　時：　2013 年 8 月 28 日（水）～31 日（土）各日 10：00～18：15

会　　場：　上野学園 石橋メモリアルホール、エオリアンホール　他

対　　象：　原則として 18 歳以上の音楽ワークショップ推進役のファシリテーターの実践的なスキルを学びたい方（大学生、音楽家、教員、音楽事業者、実践者などが受講対象者）　30 名

料　　金：　一般 35, 000 円、一般学生 15, 000 円

講　　師：　マイケル・スペンサー　※通訳あり

エデュケーター、ファシリテーター、ヴァイオリン奏者。元ロンドン交響楽団ヴァイオリン奏者、元英国ロイヤル・オペラ・ハウス教育部長。現在、Sound Strategies 最高経営責任者。スペインで唯一自主運営をしているバレス交響楽団（バルセロナ）にて、教育プログラムと経営方針の特別顧問を務める。世界各地で芸術教育プログラムを開発・実践し、さまざまな芸術団体や企業から高い評価を受ける。日本でも社団法人日本オーケストラ連盟主催・文化庁後援により､24 のプロオーケストラと各地で教育プログラムを実施｡2006 年皇后陛下ご臨席のもと、紀尾井ホールにてワークショップ型コンサート開催。2008 年には、教育ディレクターを務めた『ピーターと狼』がアカデミー賞(短編アニメ部門)を受賞した。2011 年に TEDxWWF（世界自然保護基金）出演<http://vimeo.com/61710533>。近年では、英国免疫学会の依頼を受け、科学者と芸術家、地域コミュニティーとの共生を目的とした芸術プログラムを英国各地にて制作・実践している。NHK-BS『旅のチカラ』でも活動内容が紹介された。上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員。

主　　催：　上野学園大学音楽文化研究センター

企 画 協 力：　Sound Strategies Ltd.

後　　援：　文化庁、台東区、台東区教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本クラシック音楽事業協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、文化庁芸術家在外研修員の会、特定非営利活動法人ワークショップデザイナー推進機構、ブリティッシュ・カウンシル

過去実績：

2009 年～　音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座（4 回）
こどものための音楽ワークショップ（5 回）

2012 年　講演会「芸術教育はなぜ必要か」（ベルナール・フォクルール氏）
フォーラム「日本におけるファシリテーターの未来像――音楽のチカラ、ファシリテーターのチカラ」

2012 年フォーラム「日本におけるファシリテーターの未来像――音楽のチカラ、ファシリテーターのチカラ――」の開催風景より

§養成講座のプログラム内容　（1セッション＝約2～3時間）

セッション	テーマ	内容
1	ワークショップを 始める前に！	参加型学習 – 理論、方法論、実践 • ソクラテス的思考　と　孔子的思考 • 啓蒙主義　と　江戸時代 • コルブの経験学習サイクル／ガードナーの多重知能理論 • 新しい教育的価値観（選択－好奇心－かかわり合い）
2	ワークショップとは? なぜワークショップか？	苅宿俊文氏（青山学院大学社会情報学部教授） ワークショップの概念、ワークショップ式教育の重要性、日本における展望 他
	ファシリテーターの役割を考える　**［グループワーク／ディスカッション］**	
3	音楽づくりの基本	次の相互関係を掌握する • リズム・メロディ・主題・和声・伴奏（持続音、オスティナートなど）・テクスチュア・旋法・構造　他 • 基本的な規則 • グラフィックスコア • 音楽づくりの手助け (サイコロ、トランプ　など)
4	楽器とアンサンブル	教育楽器を考える • メンテナンス • 演奏（音づくり）のコツ • 楽器のさまざまなグルーピングの方法 効果的なアンサンブルをつくるためのヒント • 聴く • 見る • 予測する • サポートする
5	即興演奏にチャレンジ	グループにおける即興演奏の方法
6	テーマとレパートリー	特定の作品をテーマとするワークショップづくり～より良い効果を得るために • 目標と行うべきこと • リサーチ • どこから始めるか • ワークショップのまとめ方（終わり方）
7	ワークショップを 組み立てよう	段階別に組み立てる • 素材作り • 学校指導要領／既存カリキュラムと関連ある内容作り • 評価方法 課題の発表
	アイディアをワークショップ化する　**［グループワーク］**	
8	私のワークショップ、あなたのワークショップ　**［課題発表］**	
9	さまざまな環境 さまざまなニーズ	吉野さつき氏（愛知大学准教授、ワークショップデザイナー推進機構理事長） • 障害のある人たちとのワークショップ • 社会問題に立ち向かうためのワークショップ
10	ファシリテーションを 総括する	いろいろな体制でのファシリテーション方法（対談形式） • 個人 • チーム • 他分野の専門家とのコラボレーション（アーティスト、科学者他）

1. セッションの順序や内容の一部が、やむを得ない事情で変更する場合があります。
2. 養成講座終了後のフォローアップとして、フェイスブック等を使用した交流の場（参加者の学習継続、意見交換の場）の作成を予定しています。

2010年、11年開催のこどものための音楽ワークショップ「夏休み！こども音楽クレヨン隊」の風景

お問合わせ：　上野学園大学音楽文化研究センター（杉山）　電話 03-3842-1021　onbunken@uenogakuen. ac. jp